

瀬戸内国際芸術祭 2016 参加作品制作のため  
大竹伸朗の新作品に使用される船型が、  
豊島の皆様のご協力のもと  
作品設置場所である旧針工場まで運ばれます。

瀬戸内国際芸術祭2016に向け、現在、アーティスト・大竹伸朗による新たな作品の制作が進んでいます。作品が展開されるのは、豊島の家浦岡地区です。メリヤス針をつくっていた旧針工場に、約30年前に作られた、全長17メートルを越す木製の船型が設置されます。旧針工場と船型が合体し、作品空間となります。

12月11日（金）には作品に使用される船型が、豊島の皆様のお力もお借りしながら、家浦港から針工場へと運ばれます。当日は、出発式や船型の練り歩きを行います。また、アーティストの大竹伸朗氏も出席する予定です。

作品に使われる木製船型は、FRP製の鯛網漁船のために作られました。しかし、船の製造自体が中止となり、一度も使われないまま、宇和島の造船所に放置されていました。その船型が、建屋だけが残された旧針工場に設置されることで、それぞれの背負う歴史や記憶が出会う作品となるでしょう。そして、瀬戸内国際芸術祭のテーマである「海の復権」を象徴する作品となることを願っています。

皆さまには、この機会にぜひご取材くださいますようお願いいたします。

■日時

2015年12月11日（金）

■スケジュール

9：20 船型出発式

10：00 運搬開始

10：30 休憩（島の方々による、甘酒の振る舞い）

11：00 運搬再開

11：30 旧針工場に到着後、クレーンによる吊り込み開始（～12：30頃まで）

取材・掲載に関する問い合わせ

ベネッセアートサイト直島 広報担当 / 川浦、小谷

〒761-3110 香川県香川郡直島町 850  
E-mail [press@fukutake-artmuseum.jp](mailto:press@fukutake-artmuseum.jp)

Tel 087-892-2550 Fax 087-892-4466  
<http://www.benesse-artsite.jp/>

Benesse  
Art Site  
Naoshima

【アーティスト略歴】

大竹伸朗（おおたけ・しんろう）

1955年東京生まれ。1982年の初個展以降、国内外の展覧会に多数参加。2006年、東京都現代美術館にて「全景 1955-2006」展に続き、2010年の第8回光州ビエンナーレ、2012年のドクメンタ（13）、2013年のヴェネチアビエンナーレに参加。直島では1994年から2010年にかけて《シップヤード・ワークス》、《落合商店》、家プロジェクト「はいしゃ」《舌上夢ノポッコン視》、《直島銭湯「I♥湯」》などの作品を制作。



photo: Shoko

【参考写真】



宇和島の造船所に置かれていた運搬予定の船型



豊島・家浦岡地区の旧針工場

取材・掲載に関する問い合わせ

ベネッセアートサイト直島 広報担当 / 川浦、小谷

〒761-3110 香川県香川郡直島町 850  
E-mail [press@fukutake-artmuseum.jp](mailto:press@fukutake-artmuseum.jp)

Tel 087-892-2550 Fax 087-892-4466  
<http://www.benesse-artsite.jp/>

Benesse  
Art Site  
Naoshima

FAX 返信先 087-892-4466

ご取材希望の方は、下記ご記入の上、FAXにてご返信ください。

豊島における船型運搬の取材について

お名前： (参加人数 人)

媒体名：

ご所属：

電話： FAX：

E-mail：

【個人情報の利用目的について】

ご記入いただいた個人情報は、ベネッセアートサイト直島が実施するイベントおよびそれに関連する連絡のために利用するほか、プレスリリースをご案内する際に利用することがあります。今後のご案内が不要な方はその旨をご連絡ください。

取材・掲載に関する問い合わせ

ベネッセアートサイト直島 広報担当 / 川浦、小谷

〒761-3110 香川県香川郡直島町 850 Tel 087-892-2550 Fax 087-892-4466  
E-mail [press@fukutake-artmuseum.jp](mailto:press@fukutake-artmuseum.jp)

Benesse  
Art Site  
Naoshima

| ベネッセアートサイト直島ウェブサイト | <http://www.benesse-artsite.jp/>